

第66期決算公告

個 別 注 記 表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法は、期末決算日の市場価格等に基づく時価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法は、総平均法による原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却方法は定額法によっている。
- (4) 貸倒引当金は、一般債権については過去の貸倒実績率等により計上するほか貸倒懸念債権及び破産更生債権等の特定の債権については個別に回収可能性を勘案して計上している。
- (5) 賞与引当金は支給見込額の当期負担分を計上している。
- (6) 勤続10年以上60歳定年退職者を受給対象として定年退職金の100%について確定給付企業年金制度を採用している。
(令和8年3月31日現在 年金資産の合計額 428,938,050円)
- (7) 消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

当期純損益金額 270,829,386円